

平成20年度第2回山形県漁業就業者確保育成協議会
議事録概要

日時：平成21年3月3日（火）13：30～16：30

場所：庄内総合支庁水産課3階大会議室

1. 挨拶（産業経済部長）

本協議会は漁業就業者確保のため具体的な方策を、関係機関が連携して実施していく仕組みができたと考えています。

平成19年度から4回協議会を行い、「漁家収入の安定向上」、「漁船の有効利用」の2つをテーマに検討を行ってきました。

漁業就業者確保のためには水産業全体の振興がもっとも効果的であり、生産者はもとより流通業者、消費者の三方が振興するという方策をめざして本協議会を運営していきたいと考えております。本日はたいへんごくろうさまです。

2. 協議

1) 平成20年度就業者確保育成関連事業の実施結果

事務局から県の平成20年度関連事業実施結果を説明した。

◇ 主な意見は以下のとおり

- 漁家出身者の定着には資金的な支援策が必要だ。漁家出身者で漁業以外に就業している人が退職後の仕事に漁業を選ぶようなことは就業確保には有効である。
- 後継者対策は魚価対策であり、対策を早くしないと漁業が無くなってしまふ。機関士などの乗組員も高齢化が進行している。資格を持った人の育成と県内の漁業への定着が必要。
- 人を雇うにも給料が安い。原因は燃油高騰で、危検状態だ。魚の値段に反映して、大打撃うけた。船に金が掛かりすぎる。
- 魚価は安いし、油は高い。最近海難事故が多く続いたから、浜全体が落ち込んでしまふ。漁業に対するイメージが悪いのかなと思う。

2) 平成21年度就業者確保育成関連予算の要求状況

◇ 事務局から県の平成21年度関連事業の予算要求状況を説明した。

◇ 来年度に計画している低利用魚の活用について、候補の魚を10種類ほど紹介した。

◇ 主な意見は以下のとおり。

- 低利用魚の活用には、コラーゲンのような有用成分を多く含む魚の有効

利用を考えてはどうか

- 水産高校から、加工部門で低利用魚活用にご参加願いたい。
- 今回の雇用対策は、これまで予算が付かなくてやれなかったことを、スポット的であるけど、行うにはいい財源なので、ご活用いただきたい。

3) 協議会テーマについて

- ◇ 事務局から協議会テーマについて説明をした。
- ◇ 主な意見は以下のとおり。
 - 研修事業の確立には賛同する。
 - 独立する際の負担軽減策の検討というようなテーマを打ち出していただきたい
 - 研修などの就業者対策については、漁協で受けとめて、漁業者と役割分担し、永続的な方法を検討すべき。
 - 県で予定している研修は、ひろく知ってもらうように。
- ◇ 協議の結果、新たに下記事項について事務局が中心となり調査検討を加えることとなった。

Ⅰ 研修事業の確立(永続的研修方法)

Ⅰ 独立者の資金面支援(独立負担低減方法)